

APRICOT2024 参加支援 プログラム参加報告

2024年3月25日
滝田 愛澄

Agenda

1. はじめに
2. 参加したセッション
3. 印象に残ったセッション
4. 今回の経験を今後どのように生かしていきたいか
5. 参加支援プログラムに関する所感

Agenda

1. 自己紹介
2. はじめに
3. 参加したセッション
4. 印象に残ったセッション
5. 今回の経験を今後どのように生かしていきたいか
6. 参加支援プログラムに関する所感

自己紹介

滝田 愛澄 (タキダ アイス)

早稲田大学政治経済学部経済学科 学部3年

参加動機:

ネットワークの最新技術や技術の社会実装に興味がある

インターネットを管理する国際組織に興味がある

日本に限らない世界で利用される技術を知りたい



はじめに

APRICOT2024 (Asia Pacific Regional Internet Conference on Operational Technologies)

開催地: バンコク (タイ) Athenee Hotel

ホスト: THNIC (The Thai Network Information Center)

参加日: 2024年2月27日～3月1日

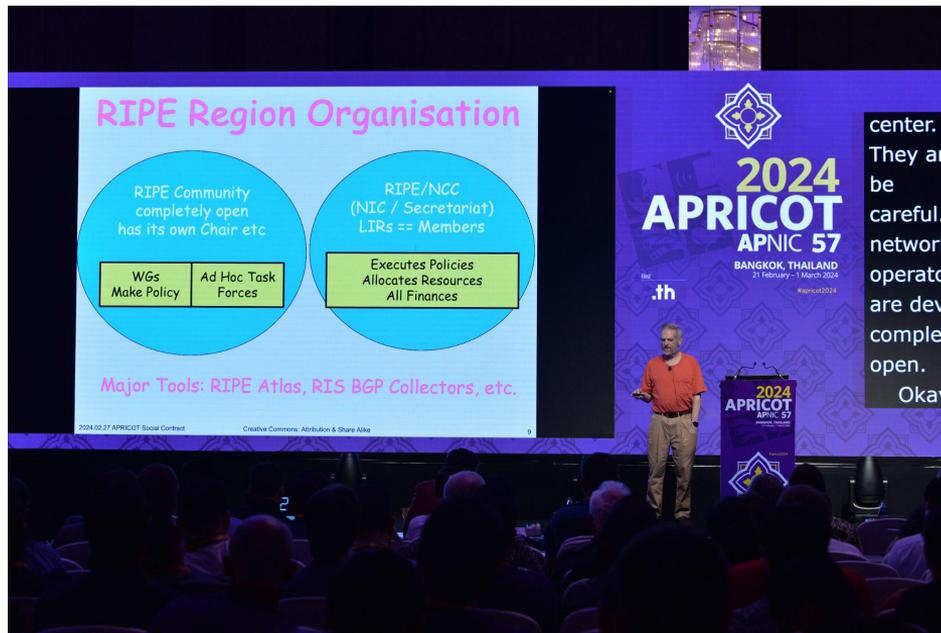
ホームページ: <https://2024.apricot.net/>



<https://www.flickr.com/photos/apnic/53555289735/in/album-72177720315086665/>

参加したセッション (1)

- Conference Day 7, 27 Feb
 - APRICOT Community Meeting
 - APRICOT 2024 Newcomers Social
 - APNIC Foundation
 - Opening Ceremony & Plenary
 - APOPS 1
- Conference Day 8, 28 Feb
 - APNIC NIR SIG
 - Innovation 1
 - APNIC Panel Discussion
 - APNIC IPv6 Deployment



<https://www.flickr.com/photos/apnic/53557385270/in/album-72177720315086665/>

参加したセッション (2)

- Conference Day 9, 29 Feb
 - Diversity & Inclusivity in Tech: Panel Discussion
 - APNIC Open Policy Meeting 1
 - Operations 1
 - NOG Reports
- Conference Day 10, 1 Mar
 - APNIC AGM 1
 - APNIC AGM 2
 - Lighting Talks
 - Closing Plenary



<https://www.flickr.com/photos/apnic/53560813388/in/album-72177720315086665/>

印象に残ったセッション (1)

APNIC Foundation

- ジェンダーの多様性とインターネット開発の関係
 - 組織や個人がインターネットに貢献したストーリー
- アジア諸国で活躍している女性エンジニアの紹介
 - THNICの運営やセキュリティエンジニアなど
 - Switchプログラムを通して技術的な成長だけでなく政策立案やソフトスキルも習得
- 「人」に焦点を当てたセッションは他には無く興味深かった

印象に残ったセッション (2)

The Intelligent Internet of Things for Sustainable Development Goals by Dr. Mona Jaber
(in Opening Ceremony & Plenary)

- Dr. Jaberはロンドン大学クイーン・メアリー校の講師
- IoTとネットワークでデータを取得・送信
- IoTによるSDGsの実現
 - 道路にセンサを設置することでそこを通行する車両のタイプや大きさを推定
 - 物流や交通の最適化が結果的に二酸化炭素排出量の削減にも繋がる
 - セキュリティリスクやコンフリクトする SDGsもあり課題は残る

印象に残ったセッション (3)

How Peering at NYIIX Helps The US School Market by Mr. Akio Sugeno
(in Lightning Talks)

- NYIIXは米国を中心としたKDDIの関連企業
- Lancaster-Lebanon Intermediate Unit 13 (IU13) という教育機関がペンシルベニア州の学校のネットワークを管理
- 6つの企業が混在したネットワークをNYIIXが統一することでコストを大幅に削減
- シンプルで効果的な技術の社会実装だと感じた

今回の経験を今後どのように生かしていきたいか (1)

最新技術を常にキャッチアップする

- 最新技術を知ることによって基礎的な勉強の中間目標にする
 - 「この最新技術を理解するためにこの基礎知識を付けよう」
- 社会に浸透した技術/しなかった技術を知る
- 特にIPv6とQUICに興味を湧いた

今回の経験を今後どのように生かしていきたいか (2)

技術組織の倫理観を共有する

- ジェンダーやマイノリティに関するセッションが印象的
 - 日本の技術イベントでこの話題が触れられているイメージがない
- APNICの組織自体が興味深く組織作りに活かす
 - 善良な協力によって成立している良い例
- 技術者としての倫理観の重要性を共有したい

今回の経験を今後どのように生かしていきたいか (3)

英語の勉強を続ける

- 専門用語も多く聞き取れないこともあった
- 特にリスニングは意識して勉強を継続する
- 「英語だから」で機会を失わない
 - 参加者とのコミュニケーションが難しいこともあり言語を理由に会話の機会を失うのは残念

参加支援プログラムに関する所感

参加支援プログラムに採用していただきありがとうございました！

飛行機やホテルのサポートでけなく、事前打ち合わせや現地での交流会、他の参加者の紹介などはこのプログラム故のいい経験でした

現地でしか聞けない裏話や組織全体の話など貴重なお話を聞くことができました